

平成28年度入学試験問題（前期日程）

## 小論文

教育学部 生涯教育課程 沖縄島嶼教育コース

### 注意事項

1. 受験番号を解答用紙の所定の欄に記入すること。
2. 解答は、必ず解答用紙に記入すること。
3. 解答用紙の他に、下書き用紙を配付するので、取り違えないように注意すること。
4. 解答時間は、120分である。
5. 横書き、鉛筆（シャープペンシルを含む）書きにすること。

## 問 題

1 次の資料を読み、あとの問に答えなさい。

〔資料1 「不屈の詩<sup>うた</sup> 沖繩編—盲目のテノール歌手 新垣勉<sup>あらがき</sup>—」〕

非公開

非公開

非公開

(『東京新聞』2015年5月6日付朝刊,「こちら特報部」欄,抜粋・一部改変)

問 なぜ新垣勉氏は自分自身のことを「いくさの傷痕」と呼ぶのか。この文章全体を要約した上で,その理由について述べなさい。(400字程度)

2 次の資料を読み,以下の各問に答えなさい。

[資料2 いれいたかし「南島人の歴史意識」]

非公開

非公開

非公開

非公開

非公開



## 非公開

(いれいたかし、『沖縄人にとっての戦後』朝日新聞社，1982年，抜粋・一部改変)

- 問1 下線部①の「存在の二重性」とはどのようなことを示しているのか。資料で述べられている歴史事象を例示した上で、具体的に説明しなさい。(400字程度)
- 問2 筆者は、下線部②の「否定性を刻印されたその歴史過程」を、「日本の周縁」というあり方として、どのような意義があると考えているのか。筆者の考えを踏まえて、あなたの意見を述べなさい。(800字程度)

## 平成28年度入学試験問題（前期日程）

# 小論文

### 教育学部 生涯教育課程 沖縄島嶼教育コース

#### 出題の意図

沖縄島嶼教育コースは、教育学部生涯教育課程のアドミッション・ポリシーに記されているように、沖縄を中心とした島嶼地域について広い見識と専門知識を持ち、シマおこし・まちづくりを担う人材を育てるために、「生涯教育や社会貢献に興味・関心を持つ人」「人々と共に地域貢献に関わりたい人」を求めている。

そこで本コースの入学試験問題は、第一に、基礎的な一般的力量として、資料の読解力と自分の意見を論述する力を問うことをねらいとしている。

第二に、沖縄・島嶼地域をとりまく文化的・政治的・経済的状況やそこに生起する諸問題の基本的なとらえ方と、それらの問題に対する関心度をはかることを意図している。これは、それらの問題に関する知識の多寡ではなく、資料からその問題をめぐって追究すべき論点は何であるかを抽出し、その論点についての自分自身の判断を整理して論述できるかどうかを問うものである。